

講演

Risk-based Valuation of Insurance Liabilities and Contingent Claims¹

(保険債務と条件付請求権のリスクベース評価)

ジョージア州立大学准教授 Shaun Wang氏²

JARIP 第三回年次大会 2005年10月1日 日本大学文理学部百周年記念館 (下高井戸)

JARIP 3rd Annual Meeting, Shimotakaido

Risk-based Valuation of Insurance Liabilities and Contingent Claims

Shaun Wang, Ph.D., FCAS, ASA

Georgia State University

shaunwang@gsu.edu

October 1, 2005

今日は価値評価についての話をします。価値評価というものは（領域内では絶対的な）王のような存在ですが、様々な価値評価（領域）があり、実際には多くの王が存在します。リスクは価値の変化として現れます。私は、価値評価について語る時、いきなり数学の話にジャンプしようとは思いません。価値評価の根底にあるものは経済学でなければならないと考えるからです。

一つの例を出しましょう。皆さんご存知のハリケーン・カトリーナの後、石油やガソリンの価格はたった一日で2ドル強から3ドルにジャンプしました。タンクにガソリンや石油を入れようと給油所に並ぶ人や車の行列を経験することになったのです。こういったときには、皆さんもおわかりでしょうが、需給が登場します。しかしここで我々は実態のあるモノ、石油やガソリンについて語ろうとしているわけで、我々はその供給についてもその需要についてもわかっています。

ここで金融契約に話を転じますと、資本市場が登場します。このとき、需給は計測しにくいものになるの

¹本稿は英語で行われた講演記録を翻訳したものです。翻訳は編集委員会の松山が担当しましたが、ありうべき誤りは翻訳者に属します。

²http://www.rmi.gsu.edu/Faculty/VITAS/WangCV_2005-12.pdf